

学校だより

友垣

第27号

発行
真和志中学校
中村 斉

校内研修会

◇英語スピーチコンテスト

高円宮杯中学生英語スピーチコンテスト那覇地区予選会が26日(土)、浦添市ハーモニーセンターで開催されました。

那覇地区(浦添市・那覇市・久米島町・南大東村・北大東村)の中学校から25名の生徒がエントリーして、これまでの自分の体験から学んだことや感じたことを英語で発表しました。

本校から、高良君(3年2組)が学校代表として出場しました。これまで自身が取り組み、励んできた旗頭や空手などをとおして、琉球文化のすばらしさやその精神を継承することの大切さについて、大勢の聴衆の前で堂々と発表していました。

高良君は25人の発表者の中で唯一の男子生徒で、尚且つ一番最後の発表という緊張感の中でのスピーチでした。

その他の代表の皆さんも、身振りを交えながら流暢な英語でスピーチを行っていました。惜しくも地区代表には選出されませんでした。各校から選ばれた中での貴重な体験は、今後の活動にもつながることでしょう。お疲れさまでした。



本校では全教師が指導案を作成した一人一回の公開授業を実施して、授業力の向上を図る取り組みを行っています。

これまで七人の職員が授業を公開してきました。中には道德の示範授業として、那覇市内で初任者研修を行っている二十名余りの先生に授業を公開

した職員もいます。授業を他人に見せるといふことは気後れしたり躊躇したりするところがあります。また、参観する側も専門外の教科を観る場合もあります。しかし、他者に授業を観てもらい意見やアドバイスをもらったり、一緒に考えることは、



自分の「授業力」を向上させることにつながります。今回は、一年二組の数学の授業を全職員で参観しました。砂川・太田・前原の三教諭によるT・T授業で、「方程式」の単元で行われました。

授業は、各教科で共通実践している「黙想」の後あいさつで始まり、導入では座席の隣同士で「音声計算トレーニング」を行い

文字式の計算の定着を図るという、ユニークな活動が行われていました。その後、折り紙の枚数を求める方程式を個人でつくり、グループで互いの考えを伝え合い、それを比較・検討するといふように展開されていきまし

た。一年二組の生徒は日頃から積極的に話し合い

◇校内授業研究会実施 数学(一年一組)



—10月行事予定—

- | | |
|--------|-------------------|
| 1日(木) | 人権の日 安全点検 |
| 2日(金) | YGS(1年1組) |
| 3日(土) | 数学検定 |
| 6日(火) | 真和志フェスタ |
| 9日(金) | 一学期終業式 |
| 10日(土) | 英語検定
児童生徒科学作品展 |
| 12日(月) | 秋休み(～16日まで) |
| 16日(金) | YGS(1年3組) |
| 19日(月) | 二学期始業式 |
| 22日(木) | 全校朝会 |
| 23日(金) | 入試説明会 |
| 24日(土) | 地区駅伝競走大会 |
| 30日(金) | 修学旅行説明会 |
| 31日(土) | 漢字検定 |

活動を行うということで、この日も活発な意見交換が行われていました。

授業終了後は、引き続き教室で授業研究会が行われました。全職員が三つのグループに分かれて、参観後の授業分析から協議を重ねました。活発な意見が交換され、今後の授業改善につながる校内研修会になったと思えます。教職員も日々、自己研鑽に励んでいます。